

東京支部 2024 年度春季総会報告

東京支部 飯島 弘

本年は、5月17日（金）池袋のホテルメトロポリタンで開催されました。司会は直江 登理事が担当し、出席者は171名でした。

最初に2023年11月から本年4月までにご逝去の連絡をいただいた会員9名のお名前と享年、逝去日を投影し、鈴木麻弥理事が読み上げた後に、全員で黙とうを捧げました。

以下、当日の進行順にご紹介します。

1. 来賓挨拶（本部報告）



土屋 裕理事長から、豊友会が目指す「hhc 理念を共有し向後の人生がより充実し、実りあるものにしてゆく憩いの場」の実現に向けた、2023 年度活動報告と2024 年度活動方針が報告されました。

活動報告では、「会員の繋がり・交流の場」造りの活動内容のほか、特別プロジェクトとして以下の4点の取り組み及び能登半島地震の復興義援金として30万円を寄付したことが報告されました。

- ① 豊友会40周年(2025年度)記念本部事業・行事案の作成
- ② 費用効率化(主要科目の洗い直し、活動内容の見直し)の検討
- ③ 規約の改定(会則・内規、監査規程、会計規程)
- ④ 豊友会入会のしおり改定

2024年度の活動方針は、以下の通りです。

- ① 豊友会の「交流の場」の充実として対面での交流(総会・同好会等)、豊友会だより・HPによる活動状況・会員の近況に関する情報発信の充実
- ② 会員動向を見据えた活動内容の見直し
- ③ エーザイに関する情報の充実
- ④ 社会との接点の維持(SDGs活動など)
- ⑤ 40周年記念事業・行事の準備

特に、人生100年時代に向けた会員動向の変化を見据えた交流の場の見直しを強調されました。

2. 支部長報告

石井三郎支部長からは、2023年度の成果として、以下の3点が報告されました。

- ① 春季総会での内藤会長による特別講演、秋の集いでは会員でプロギタリストの長洲毅志氏のギター演奏会の実施
- ② つくばエリアを中心とした、研究所見学会の開催



③同好会活動の全面的再開

2024 年度支部方針は「豊友会が目ざすもの」「共有しておきたい3つの思い」を前提に、2025 年度の創立 40 周年に向けて、特に中長期的な視点での豊友会の「存続」について考えていく。活動計画としては、支部記念事業として以下の3点を挙げられました。

- ① エリアを定めた地域交流会を茨城県に加えて埼玉県でも実施
- ② デジカメ、仏像彫刻、絵画、書道同好会による作品合同展示会の開催
- ③ 東京、つくば、本庄支部による合同「歩の会」の開催

最後に、本年度の「秋の集い」は、10月20日(日)にエーザイ本社5階ホールで開催することをお知らせしました。

3.事務局報告

- ① 2023 年度決算と 2024 年度計画
- ② 慶弔に関する内規の変更
- ③ 全国会員数、支部新会員数報告及び賀寿のお祝い

2023年11月から2024年4月までの新会員数は5名、賀寿のお祝いでは、本年上期に喜寿を迎えられる方が25名です。ちなみに卒寿(90歳)を迎えられる方は3名で、以下米寿(88歳)13名、傘寿(80歳)19名、古希(70歳)14名の方々のお名前をスクリーンで紹介し、出席された8名の会員には、土屋理事長からお祝いのQUOカードを贈呈しました。

4. 特別講演



講師には総合東京病院 認知症疾患研究センター センター長 羽生 春夫 先生をお招きし、「認知症を正しく知り、治療、予防しましょう」の演題で講演していただきました。認知症の発症要因から日常的な予防策などを、ユーモアを交えてわかりやすく説明していただき、たいへん好評でした。

なお、総合東京病院のホームページで羽生先生の講演動画(今回の講演ではありません)が配信されており、ご覧になれます。

<https://www.tokyo-hospital.com/video/dr-hanyuh1/>

懇親会は、古希を迎えられた天明 質さんのご挨拶と乾杯ではじまり、その後参加した皆様は、久しぶりの再会に会話も弾み、和やかに進行してお開きとなりました。